

主な性能

機能

測定特性: 内蔵する光ファイバ型マツハツェンダ干渉計の「光周波数・強度」弁別点を制御し、入射光の光チャープ(光周波数変調)成分を光強度成分に変換し、出力する。光チャープ(光周波数変調)成分と光強度変調成分の分離。

偏波補償: 光ファイバ型偏波制御器による自動偏波補償。

自動ゲイン調整機能付

光アンプ内蔵(Q7606A): 自動ゲイン調整機能付光アンプを内蔵。光出力パワーは、入射光パワーに依らず0dBm以上で出力。外部O/Eコンバータに適合するよう外付け光アンプを用意し、光出力パワー/光アンプゲイン調整を行う必要がありません。

性能仕様¹⁾

	Q7606A	Q7606B
測定波長範囲	1530 ~ 1580nm	1510 ~ 1590nm
入射光パワー範囲	- 10 ~ + 10dBm	- 20 ~ + 10dBm
Free Spectral Range	150GHz ± 15GHz	
復調帯域 ²⁾	100Hz ~ 50GHz	
復調周波数偏移量	65GHzp・p以下	
復調周波数分解能	20MHzp・p以下 ³⁾	
挿入損失	-	10dB以下
光出力パワー	0dBm以上 ⁴⁾	入射光パワー(dBm) - 10dB以上 ⁵⁾
出力段光アンプ	自動ゲイン調整機能 光アンプ内蔵	- ⁶⁾
入射光偏波補償	自動偏波補償器内蔵	

¹⁾ 23 ± 5 にて。

²⁾ 130MHzを基準にして、1dB down。

³⁾ 外部サンプリング・オシロスコープの測定レベル分解能、入射光パワーに依存します。

⁴⁾ 出力光平均パワー。自動ゲイン調整機能により、光パワーは自動的に調整されます。

⁵⁾ 入射光パワーに依存します。

⁶⁾ Q7606Bをチャープ測定に使用する場合は、一般に外部O/E入射光パワー範囲に適合する光パワーを得るため、ゲイン調整可能な光アンプが必要です。

入出力仕様

光入出力: FC/PCコネクタ

GP-IB: IEEE488・1978に準拠

一般仕様

使用環境: 周囲温度 0 ~ + 40
相対湿度 85% 以下(結露しないこと)

保存環境: 周囲温度 - 20 ~ + 60
相対湿度 90% 以下(結露しないこと)

電源: AC100・120V、AC220・240V、
50/60Hz、85VA以下
100V系、200V系自動切り替え

外形寸法: 約132(H) × 424(W) × 500(D)mm

質量: 15kg以下

本製品を正しくご利用いただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書をお読みください。ユーザ各位の要望、当社の品質管理の一層の高度化などにもとまって、おことわりなしに仕様の一部を変更、向上させていただくことがあります。

